

平成28年度 第1回 学校協議会報告

【日 時】平成28年7月1日（金）14時～16時 セミナー3階研修室にて

【出席者】学校協議会委員：（50音順・敬称略）岩井 英雅（元府立学校准校長）・
神戸 尚史（学校医・産業医）・土 静江（本校同窓会）・
水野 洋子（PTA定時制委員会副委員長）

准 校 長：大森 孝志

事 務 局：伊藤 牧子（教頭）・北村 陽子（首席・養護教諭）・安田 晃（教務主任）・
沼田 慎也（生徒指導主事）・小澤 靖典（進路指導主事）・原川亜理沙（保健主事）・
林 雄大（4年学年主任）・神原 優希（3年学年主任）・庄司 樹生（2年学年主任）・
亥野 良祐（1年学年主任）

- 1 開会
- 2 准校長挨拶
- 3 委員、出席者紹介
- 4 事務局より実施要項について
委員の変更について
- 5 会長挨拶
- 6 協議

（1）平成28年度学校経営計画についての説明

① 准校長より説明

・「授業中の携帯電話使用禁止指導」と「わかる授業」プラス「考えさせる授業」の実践
携帯指導は、大きなトラブルもなく実践できている。

② 各分掌長（教務部・生徒指導部・進路指導部）首席より取組みの説明

・分掌チャレンジ（学校経営計画を遂行するためのより実践的な取組み）の説明をする。保健部については、分掌チャレンジに載せていないので、首席より下記の取組みの説明がある。

※「平成28年度分掌チャレンジ」の資料参照～アップロードあり

保健

- ・集団の中で、社会の一員としての自覚を持ち、生徒間の関係づくりや自主性を養うことを目標に生徒の保健委員会を立ち上げる予定である。
- ・生徒の居場所として、図書室が常時開いていない現在は、学校外、校内の隠れた場所、保健室が生徒の居場所となっている。
- ・「メンタル面に弱い」「課題解決能力が低い」生徒が多くなってきている。「レジリエンス（立ち直る力）」を身につけさせることを学校教育の中で実践できないかと考えている。
- ・11月に心を動かす防災教育として講演会を予定している。

③ 各学年より取組みの説明

1年生

- ・まずは授業に出席させることから始めなければならない状況である。
- ・生徒に寄り添うことから始め、授業に出よう生徒、保護者に丁寧に連絡する。
- ・生徒間の繋がり強化のためのレクリエーション企画の推進。
- ・楽しい学校生活を提供することで、進級率を上げる。

2年生

- ・登校する意欲の高い生徒が多い。
- ・悩み事や情緒的に不安定な生徒に対するケアをしている。

3年生

- ・定時制生徒は仕事との両立が基本。卒業に向けて改善していきたい。69名中20名が通信コースを選択している。
- ・授業の最初に、就職に必要な学力である算数、漢字の勉強をしている。その必要性も自覚させしっかりと指導していきたい。

4年生

- ・約80%が登校している。
- ・卒業を目標に単位取得に向けて指導していきたい。
- ・生徒の課題を見極め、進路指導部と連携して、学校紹介、職場訪問等進路指導を進めていきたい。

(2) 学校協議会委員より提言

- 子どもは親の言うことをなかなか聞いてくれないので、学校で社会に出るためになぜ高校を卒業しなければならないのか、しっかりと指導してほしい。
- 3年ないし4年間で卒業をするためには、友達と居場所が必要である。学校に居場所がなくてはならない。
- 禁煙指導、あいさつ運動、携帯電話指導等のように毎年ひとつ、新しいルールを課していけば、さらに、学習環境・学校環境が整っていくのではないか。
- 学校行事等で、地域との連携を深めていくために体育祭で競技だけではなく、「テニス初心者コーナー」「体力測定」など、地域の人が参加しやすいものを用意する。
- 他校との連携や情報交換をしながら切磋琢磨してよりよい学校づくりをめざしてほしい。

7 その他

- ・教科書選定について（資料あり）
- ・第2回学校協議会 平成28年11月の予定

8 閉会